

報恩講法要 平成 22 年 11 月 14 日(日)

朝^{とき}10～12時→【お齋】→昼1～3時



来る平成 22 年 11 月 14 日(日)、明覚寺本堂にて報恩講法要を修行いたします。おつとめは【朝】正信偈(行譜)、【昼】正信偈(草譜)、仏教讃歌は【朝】旅ゆくしんらん、【昼】しんらんさま、です。ご法話は稲葉 芳道師(奈良吉野)です。「報恩講」とは、お念仏に生かされる喜びを味わわせていただく私たちが、その教えをすすめてくださった「親鸞聖人のご恩に報いる大切な集い」です。お誘いあわせご参拝くださいますようお願い申し上げます。合掌

半歩前進が成長の鍵



サッカーを例に少し説明します。

サッカー初心者が、右足で20回リフティングができるようになった後、次の練習は何をすべきでしょうか？

左右の足のバランスを考えて、左足で20回のリフティングを目標とした練習をすれば良いと思われた方は、決して間違いではないのですが、指導者としては少し急ぎ過ぎかもしれません。

個人によって成長の仕方が違うのですから、正解はないのかもしれませんが、今回の事例では、「右足で30回リフティングをする」が効果的な練習課題となります。30回できるようになったら、40回、50回と増やしていきます。サッカー経験者の方は、すぐに分かると思いますが、数を増やせば増やす程に、左足を使わなければならない場面も増えてきますので、実は左足の練習にもなるのです。おそらく、50回以上のリフティングができるようになれば、左足でのリフティングもある程度できるようになるはずです。

成長というと、「今まで出来なかった事ができるようになる」ばかりが目立ってしまいがちですが、実は、「今までに出来た事が、継続して出来るようになる」も立派な成長なのです。特に、後者の成長方法は、無理がなく、着実な成長を手にする事ができるために、長期的な視野に立った指導をする者の中では、高く評価されている指導方法でもあります。すでに出来ている事ですから、できて当たり前なのですが、それを継続する事が「半歩前進」にしかなくとも、半歩分成長しているのは確かです。お聴聞(法話)も同じですね。

「使用済み古切手」を集めています



収益金を「ユニセフ・国連児童基金」に寄付しますので、ご協力お願いします。他に「ベルマーク」も集めています。

- ★切手の周り5ミリ位を残して切ってください。
- ★台紙から剥がさないように。
- ★切手の周りのギザギザがないと無効です。

